



Disaster prevention Expert News

東北地方 防災エキスパートだより

発行:平成16年5月20日

東北地方防災エキスパート事務局 TEL.022-268-4454 ((社)東北建設協会内)

2004.5
Vol. 1

「防災エキスパートだより」発刊に感謝して

東北地方整備局 防災対策官 菅原 信雄

阪神・淡路の大震災を教訓として設立された防災エキスパート制度も早や8年を経過し、この間、昨年の地震災害をはじめ多くのご支援を賜り厚くお礼申し上げます。切迫している宮城県沖地震など、今後も一層のご指導、ご支援を仰ぐにあたりましては、何よりも常日頃からのコミュニケーションが不可欠であることを、先ず現職職員が認識すべくその啓発を図ってきているところでありますので、よろしくお願ひいたします。

さて、災害が忘れないうちにやってくる昨日ではありますが、毎日の膨大な情報に流されて、災害はやはり忘れがちな時代ではないでしょうか。

この度、「防災エキスパートだより」が発行されることになりましたことは、会員方々の活動状況や時々に応じた情報を共有し、大事に際してこの制度を更に効果的に機能させるものと大いに期待しますとともに、事務局のご努力に感謝申し上げます。



馬渕川・高瀬川合同水防演習で活動の防災エキスパートのメンバー



活動状況

「防災エキスパート シンボルマーク」が決定しました



緑の多い美しい東北をモチーフにし、災害からみんなで手を取り合って守り続けようというオーラ(力)が東北全体を包み込んでいるイメージを表現しました。

平成15年度 防災エキスパート研修会報告

研修会は11月18日の青森県を初めとして、8回参加人員延べ500名で開催されました。

湯沢地区では、出張所長・事務係長・技術係長と防災エキスパートによる出張所単位による分科会を実施しました。結果は普段からの交流をしながら現場点検等と一緒に回り、当時の工事経緯などを聞きたい等の一致をみました。今後を期待し、他県へも広げたいと考えています。

また、全体を通じて大規模災害ならずとも、支援活動をすることが必要などの会員からの声も多くありました。

宮城県北部連続地震を体験して

綱田 政芳

7月26日(土)朝 電話が鳴る、受けると東北建設協会からの出動要請連絡であった。会社に出て事情を説明し、北上川下流河川事務所へ、対策本部で関沢所長さんから「ホワイトボードを見て状況把握のうえ鹿島台出張所へいって欲しい」との指示があり鹿島台出張所についたのが9:40ころでした。大沼出張所長さんから現況説明があり、話をしている間に、問い合わせの電話がたて続けに鳴る。打ち合わせどころではない。

即、所長さんが手に持っている現在までの入手情報(メモ)をホワイトボードに記載してもらうことにした。書くうちに整理され状況が見えてきた。

途中から入った私にとっても、外部からの問い合わせに対して、「何をして欲しいのか」「何を知りたいのか」「何を知らせたいのか」等等…………。所長さんが問い合わせてきた時に「それは、何々資料の中にあるのでは」という様な間接的な支援が出来たと思っている。

これは、会社人から社会人に切り替えた時、これまでの研修、講演、講話等、折に触れる事務所の事業概要等を知る機会を与えていただいたことが非常に役立ったと思っている。

多種多様の印刷物の中にどの様な事がのっているのか思い出すのは定かではないが、もし「あるとすれば何に、だけでもよい。それがあったらそれを使えばよい。」私の役割は、これに尽きると思った。足手まといにならない、しかし、何らかの役に立てばと二日間努めた。

今日、こうして書いて見ると殆ど忘れて何も残っていないが、すしん、すしんと下から突き上げる連続地震の感じだけは残った。ながかつたなあー。

今、頭の中には高い確率で起こるであろうと言われている、次の地震対策を急がなければならないという思いと、自分の家の耐震補強から始まり、身の回りは等等、しかし、私自身に緊迫感がうすい。それは、これまでの地震経験からくるのかな、とも思う。

田尻町を中心に起きた宮城県北部地震
S37.4(大崎出張所 勤務中)
宮城県沖地震 S53.6(局 勤務中)
宮城県北部連続地震 H.15.6(自宅)

自宅経験は今回だけ(今の家は耐えた)。
記憶を辿って書いてみました。

H16.4.23



[写真:北上川下流河川事務所提供的]

編集後記

綱田さんご苦労様でした。貴重な体験文ありがとうございました。

防災エキスパートシンボルが決まりました、シールを作りましたので名刺に貼ってご活用ください。

平成15年度防災エキスパート研修会で種々出された貴重な意見を今後に生かしたいと考えています。“一気咲き 亀千代桜 もう青葉”例年より早く桜前線が抜けた感じでした。梅雨どきの出水時はご支援をよろしくお願いします。(宍戸記)